評価対象事業名	道路メンテ	道路メンテナンス事業補助(橋梁補修事業)						
	柱	3	夢や希望のあるまち、持続可能な地域を創る					
長崎県総合計画上	基本戦略	1	人口減少に対応できる持続可能な地域を創る					
の位置づけ	施策	(6)	持続可能なインフラの整備及び利活用					
	事業群	1	インフラの戦略的な維持管理、更新及び利活用の推	進				

作成年月日	令 和	6 年	11 月 26 E	1
事業所管	土木 維持補修	部 班	道路維持 (内線)	持 課 3144
課(室)長名		田﨑	智	

1. 事業の概要

<事業の主な実施内容> 県管理道路の橋梁において、老朽化した橋梁の計画的な維持管理を行うた め、点検・補修・更新を実施する。

<国の主な採択基準>

点検を実施し、その診断結果が公表されている構造物であって、地方公共団 体が策定する長寿命化修繕計画に基づいて実施される下記の事業であるこ

|(1)構造物の性能・機能の維持・回復・強化を図る修繕

事業概要 (2) 道路メンテナンス事業の実施に必要な点検

<負担区分(%)>

く県費の継ぎ足し>

玉	<u>県</u> 36.2	地元	条件
63.8		0	本土
69.6	30.4	0	離島

☑ 無

2. 新規要求における事業評価の視点

の視点

- 事業評価 ①損傷箇所の剥落等により、第三者へ被害の恐れがあるもの。
 - ②老朽化したインフラの計画的・戦略的な維持管理

3. `	令和7年度新規要求箇所	
no.	令和7年度新規要求箇所 事業箇所名	市町村名
	県内一円	長崎市外20市町
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
1 2 3 4 5 6 7 8		
10		
11 12 13		
12		
13		
14 15 16 17		
15		
16		
17		
18		
18 19		
20		
21		
22		
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

令和7年度新規要求箇所評価調書(橋梁補修事業)

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業	事完予年度	* 事業概要		事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R7)					新規要望理由		地域の要望等	総合評価	
事業箇所名	111111111111111111111111111111111111111	主体	予定 年度	(L)	上段:全体、下段:R7)	事業費	国費 .	県領		市町村費等	(必要性、	目的、効果、優先性、緊急性等)		也以少女主守	評価
						7 71020		県債	一般財源	11770					
キョウリョヤシュウジギョウ 橋梁補修事業		iel	R11	橋梁補修 100株耐震補強 3橋	吞 问	11,500,000	7,424,000	3,668,400	407,600	·	については早 び割れ対策や	′坐表坐百寺で天肥りる。	長崎県橋梁县 計画的な事業	長寿命化修繕計画により ≧実施を図る。	
橋梁補修事業		示		橋梁補修 20橋	2,300,000	1,496,400	723,200	80,400			全型の管理を推進することで、ラ 1ストの縮減を図る。			A	
											費用便益比	B/C= -	負担割合 国:	県:地元=63.8%:36.2%:00%(本土) 県:地元=69.6%:30.4%:00%(離島)	1
	合計			11,500,000	7,424,000	3,668,400	407,600	0					j		
			2,300,000	1,496,400	723,200	80,400	0								

評価対象事業名	道路メンテナンス事業補助(道路トンネル補修事業)						
	柱	3	夢や希望のあるまち、持続可能な地域を創る				
長崎県総合計画上	基本戦略	1	人口減少に対応できる持続可能な地域を創る				
の位置づけ	施策	(6)	持続可能なインフラの整備及び利活用				
	事業群	1	インフラの戦略的な維持管理、更新及び利活用の推議				

作成年月日	令 和	6 年	11 月 26 E	-
事業所管	土木 維持補修	部 班	道路維持 (内線)	· 課 3144
課(室)長名		田﨑	智	

1. 事業の概要

<事業の主な実施内容>

県管理道路の道路トンネルにおいて、老朽化したトンネルの計画的な維持管 理を行うため、点検・補修・更新を実施する。

<国の主な採択基準>

点検を実施し、その診断結果が公表されている構造物であって、地方公共団 体が策定する長寿命化修繕計画に基づいて実施される下記の事業であるこ

|(1)構造物の性能・機能の維持・回復・強化を図る修繕

事業概要 (2) 道路メンテナンス事業の実施に必要な点検

<負担区分(%)>

く県費の継ぎ足し>

国	県 36.2	地元	条件
63.8		0	本土
69.6	30.4	0	離島

□有 √ 無

2. 新規要求における事業評価の視点

の視点

- 事業評価 ①損傷箇所の剥落等により、第三者へ被害の恐れがあるもの。
 - ②老朽化したインフラの計画的・戦略的な維持管理

3. ·	<u> </u>	
no.	令和 / 年度新規要水固所 事業箇所名	市町村名
1	県内一円	長崎市外9市町
2		
3		
no. 1 2 3 4 5 6 7 8 9		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
12 13 14 15 16 17		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
19 20 21		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
22 23 24 25 26 27 28 29		
28		
29		
30		

令和7年度新規要求箇所評価調書(道路トンネル補修事業)

(ふりがな) 事業箇所名	事業 第業 完了 主 主 体 年度 (上段:全体、下段:R7)				費(単位:千 :全体、下段			新規要望理由	地域の要望等	総合評		
事業箇所名	בי ניי נשנוין	主体	予定 年度	(上段:全体、下段:R7)	事業費	国費	県		市町村費等	(必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の安主寺	評価
					7/12		県債	一般財源	113			
ドウロ トンネル 道路トンネル			1	トンネル補修 84トンネル	2,750,000	1,844,980	814,500	90,520		ひひ剖れ対象で刺洛防止対象寺を美肥する。	長崎県道路トンネル事業計画により計 画的な事業実施を図る。	
補修事業	が記したが、 道路トンネル 科ションギョウ 補修事業	· 県		トンネル補修 16トンネル	550,000	367,720	164,000	18,280		また、耐用年数が経過したドンイル照明をLED 照明に更新し、長寿命化・省電力化を図る。		
										費用便益比 B/C= -	負担割合	
	合計		2,750,000	1,844,980	814,500	90,520	0					
			550,000	367,720	164,000	18,280	0					

評価対象事業名	防災•安全	防災・安全交付金(舗装補修事業)						
	柱	3	夢や希望のあるまち、持続可能な地域を創る					
長崎県総合計画上	基本戦略	U	人口減少に対応できる持続可能な地域を創る					
の位置づけ	施策	(6)	持続可能なインフラの整備及び利活用					
	事業群	1	インフラの戦略的な維持管理、更新及び利活用の推	進				

作成年月日	令 和	6 年	11 月 26 日	
事業所管	土木 市町道•環境	部 班	道路維持 (内線)	課 3143
課(室)長名		田﨑	智	

1. 事業の概要

 <事業の主な実施内容> 県が管理する国道・県道で、舗装の劣化が著しく車両の通行に支障を来たし
ている箇所において、安全性や快適性の確保及び交通事故防止のため、舗装の補修を行うもの。
表の情形で117500。

<国の主な採択基準>

|舗装の劣化・損傷が著しく補修を必要とするもの(2層以上の補修)

事業概要

<負担区分(%)>

灵担区刀	(%)/		
国	県	地元	条件
58.0	42.0		本土
69.6	30.4		離島

<県費の継ぎ足し>

□有 √ 無

2. 新規要求における事業評価の視点

の視点 ②交通量(台/日)

事業評価 ①舗装の劣化が著しいもの

3	令和7	在	查	辛斤:	盽	亜	求	笛	丽
Ο.	73 474 7	-	10	不 儿,	νπ.	ᆓ	\sim		171

<u>3.</u>	<u>令和7年度新規要求箇所</u>	
no.	令和7年度新規要求箇所 事業箇所名	市町村名
1 2 3 4 5	県内一円	長崎市外19市町
2		
3		
4		
5		•
6		
8		
7 8 9		
10		
11		
12		•
13		•
14		
15		•
16		•
17		
18		
19		
20		
21		
20 21 22 23		
23		
24		
24 25		
26		
26 27 28 29		
28		
29		
30		

令和7年度新規要求箇所評価調書(舗装補修事業)

(ふりがた	(ふりがな) 事業箇所名 市町村名 事業 事業 完了 主 予定 4 年度		事業完了	事業概要	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R7)					新規要望理由	地域の要望等		
事業箇所	名 '''	ם נית נייונ	主体	予定 年度	(上段:全体、下段:R7)	事業費	国費	県	費	市町村費等	(必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の女主守	
			PT.			于木品	X I	県債	一般財源	r T			
**/ウ ホャシュウシミ 舗装補修!	* 32 ₁8	I.m	ı	R11	舗装補修 L=30km	2,900,000	1,699,980	1,080,000	120,020		一般国道202号外55線は、観光、商業、物流輸送、地域の生活を支える重要な路線であり、舗装の老朽化により、交通の安全性や快適性が損なわれる危険性があるため、当事業によ	長崎県道路舗装維持管理計画により計画的な事業実施を図る。	A
舗装補修	業	₹M—H	示		舗装補修 L=6km	580,000	339,996	216,000	24,004		り補修を行い道路利用者へ安全で快適な道路 空間を提供するものである。	3	
											費用便益比 B/C= -	負担割合 国:県:地元=58%:42%:00%(本土) 国:県:地元=69.6%:30.4%:00%(離島)	
合計		2,900,000	1,699,980	1,080,000	120,020	0							
					HRI	580,000	339,996	216,000	24,004	0			

評価対象事業名	防災·安全交付金(災害防除事業)							
	柱	3	夢や希望のあるまち、持続可能な地域を創る					
長崎県総合計画上	基本戦略	3	安全安心で快適な地域を創る					
の位置づけ	施策	(3)	災害に強く、命を守る強靭な地域づくり					
	事業群	5	防災・減災対策のための国土強靭化の推進					

1	重	業	ന	概	亜
	#	*	u,	114.	7

-	<事業の主な実施内容>
---	-------------

道路防災点検で要対策と判定された箇所について、斜面崩壊や落石等の危 険性があることから、対策工事を実施する。

<国の主な採択基準>

道路における斜面・盛土で、危険な兆候をあらわし、そのまま放置すると災害 を惹起し、著しい支障をおよぼすもの。

事業概要

<負担区分(%)>

<u> </u>	(70)/		
玉	県	地元	条件
58.0	42.0	0	本土
69.6	30.4	0	離島

く県費の継ぎ足し>

□有 √ 無

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価 の視点

①交通量(台/日) ②緊急輸送道路として位置づけられているか ③迂回路の有無

作成年月日	令 和	6 年	11 月 26 日	
事業所管	土木 維持補修	部 班	道路維持 (内線)	課 3144
課(室)長名		田﨑	智	

3.	令和7年度新規要求箇所 事業箇所名	
no.	事業箇所名	市町村名
	県内一円	長崎市外15市町
1 2 3		
3		
4		
4 5		
6		
7		
8		
9		
6 7 8 9		
11		
11 12 13		
13		
14		
15		
16		
14 15 16 17		
18		
18 19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30		
27		
28		
29		
30		

令和7年度新規要求箇所評価調書(災害防除事業)

(ふりがな) 事業箇所名		市町村名	事業	事完 予 定 度	事業概要			費(単位:千l :全体、下段:			新規要望理由	地域の要望等	総合評
事業箇	i所名	111 111 111 111	主体	予定 年度	(上段:全体、下段:R7)	事業費	国費	県		市町村費等	(必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の安全寺	評価
			IT.			于 术吴		県債	一般財源	117-11132-11			IIII
^{シッグハぼうじょじぎょう} 災害防除事業 県内一円		П	Dit	道路法面防災対策 200箇所	12,000,000	7,586,400	3,972,200	441,400		道路防災点検において要対策箇所と判定され ており、斜面の崩壊や法面からの落石の危険 性がある。そのため、早急な対策を実施し、安 のでは、対策の紹生がは、形式せてより 的な事業実施を図る。	長崎県道路防災事業計画により計画的な事業事施を図る。		
	県内一円	県	RII	道路法面防災対策 40箇所	2,400,000	1,517,280	794,400	88,320		主で信頼住の高い追踪網を維持・形成するものである。		A	
											費用便益比 B/C= -	負担割合 国:県:地元=58%:42%:00%(本土) 因:県:地元=69.6%:30.4%:00%(離島)	
	合計 -		12,000,000	7,586,400	3,972,200	441,400	0						
			2,400,000	1,517,280	794,400	88,320	0						

評価対象事業名	地域脱炭素	地域脱炭素移行・再エネ推進交付金						
E 岐 B 松 스 弘 西 L	柱大兴叹	柱 3 夢や希望のあるまち、持続可能な地域を創						
長崎県総合計画上 の位置づけ	<u>秦本</u> 戦略 施策	③ (5)	安全安心で快適な地域を創る 脱炭素社会の実現を目指した快適なライフスタイルの普及					
	事業群	1	節電や省エネルギー等の取組推進					

評価対象事業名	地域脱炭素	地域脱炭素移行・再エネ推進交付金							
	柱	3	夢や希望のあるまち、持続可能な地域を創る						
長崎県総合計画上	基本戦略	3	安全安心で快適な地域を創る						
の位置づけ	施策	(5)	脱炭素社会の実現を目指した快適なライフスタイルの普及						
	事業群	1	節電や省エネルギー等の取組推進						

1. 事業の権	既要					
	<事業の主			、消費電力の省コ	アラル 理接名	5年減去図る
	理路照明別	OJLEDIL	を夫他し	、	上个化、块块 只1	可仏滅で凶る。
	く国の主な			このための基盤イ	いつこむ供の道	こなたる+ の
	地場再工不	守りかけ	の取入化	このだめの基盤1	ノノフ政1個の等	八を打りもの。
 事業概要						
	<負担区分) (%)>			_ <県費の	の継ぎ足し>
	<u>国</u> 66.7	<u>県</u> 33.3	<u>地元</u> 0	条件 本土		44
	00.7	33.3		- 本工	」 □有 □	✓ 無
	<u> </u>				_	
]	

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価 の視点 ②環境負荷低減

作成年月日	令 和	6 年	11 月 26 日	
事業所管	土木 維持補修	部 班	道路維持 (内線)	課 3144
課(室)長名		田﨑	智	

3. ·	令和7年度新規要求箇所	
no.	令和7年度新規要求箇所 事業箇所名	市町村名
	(国)202号外(脱炭素)	市町村名 長崎市
1 2 3		
3		
4		
4 5		
6		
7		
8		
9		
6 7 8 9		
11		
12 13		
13		
14		
15		
14 15 16		
17		
18		•
18 19		
20		
21		
22		
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

評価対象事業名	防災•安全	防災・安全交付金(交通安全施設等整備事業)						
	柱	3	夢や希望のあるまち、持続可能な地域を創る					
長崎県総合計画上	基本戦略	3	安全安心で快適な地域を創る					
の位置づけ	施策	(1)	犯罪や交通事故のない安全・安心なまちづくりの推進					
	事業群	3	交通安全確保に向けた通学路等の整備					

1. 事業の概要

<事業の主な実施内容>

歩道が無い箇所や歩道が狭く危険な箇所を地元の協力等、整備条件が整った た箇所から優先的に歩道整備を行うもの。

<国の主な採択基準>

交通事故の防止、もしくは歩行者等の安全で円滑な移動の確保のために実施する事業(該当事業に「歩道」が明記されている)。

事業概要

<負担区分(%)>

	見上にフ	(/0//		
	玉	県	地元	条件
	63.8	36.2	0	本土
	69.6	30.4	0	離島
ı				

<県費の継ぎ足し>

□有

√ 無

2. 新規要求における事業評価の視点

- ①通学路合同点検プログラムに基づく合同点検の実施有無
- ②通学児童数
- ③交通事故件数

事業評価 の視点

- 4)交诵量
- ⑤歩道の整備状況(既存歩道の有無、前後区間の接続性)
- ⑥地域の合意形成(要望の有無、通学路合同点検の実施状況)
- 上記評価項目を総合的に評価し、事業実施可能な箇所から新規要求を行う。

作成年月日	令 和	6 年	11 月 26 日	
事業所管	土木 維持補修	部 班	道路維持 (内線)	課 3144
課(室)長名		田﨑	智	

3. 令和7年度新規要求箇所

3.	令和/年度新規要來固門	
no.	事業箇所名	市町村名
1	(国)204号(羽須和)	佐々町
2	(主)佐世保日野松浦線(皆瀬)	佐世保市
3	(国)251号(瀬野)	南島原市
4	(国)207号(殿崎)	諫早市
5	(一)田浦平戸港線(田助)	平戸市
6 7	(一)大浜福江線(上崎山)	五島市 平戸市
	(一)大根坂的山線(前平)	平戸市
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22 23		
23		
24		
25		
25 26		
27		
28 29		
29		
30		
	<u> </u>	

令和7年度新規要求箇所評価調書(交通安全施設等整備事業)

(ふりがな)	市町村		事業完了	事業概要			費(単位:刊 :全体、下段			新規要望理由	地球の亜钼等	総合評価	
事業箇所名	名	主体	予定 年度	(上段:全体、下段:R7)	事業費	国費	県		市町村費等	(必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	評価	
		IA.			平 木貝	四貝	県債	一般財源	ilieilili 보고			Щ	
いっぱんこくどう202 (国)202号	長崎市	ı	R10	道路照明灯更新(LED化) N=1,200基	480,000	320,000	144,000	16,000	0	性でエマ、成件思明命兵の制用牛致起廻を 	2050年カーボンニュートラル実現に向けた、インフラグ野における脱炭素化	A	
ごうほがつたんそ 外 (脱炭素)	川剛文	ᄍ	Kio	道路照明灯更新(LED化) N=300基	120,000	80,000	36,000	4,000	0	の省エネ化、環境負荷低減を図る。	の取り組みを推進。		
										費用便益比 B/C= -	負担割合 国:県:地元=66.7%:33.3%:00%	\vdash	
いっぱんこくどう204 (国)204号	佐々町	ı	D11	歩道整備 L=300、W=2.5(片側)	400,000	255,200	130,300	14,500	0		道路管理者、警察、学校関係者、地元 等による合同点検実施。		
(羽須和)	佐々町	乐	R11	測量設計 1式	30,000	19,140	9,700	1,160	0	者の安全・安心な歩行空間の確保を図る。	地元からの歩道整備要望。 負担割合 国:県:地元=63.8%:36.2%:00%	A	
しゅ させぼ (主)佐世保 ひの まつうら せん	佐世保		D11	歩道整備 L=130、W=2.5(両側)	350,000	223,300	114,000	12,700	0	当区間は皆瀬小学校の通学路であり、歩道	道路管理者、警察、学校関係者、地元等による合同点検実施。		
ひの まつうら ぜん 日野松浦線 がいぜ (皆瀬)	市	宗	R11	測量設計 1式	30,000	19,140	9,700	1,160	0	者の安全・安心な歩行空間の確保を図る。	地元からの歩道整備要望。 負担割合 国:県:地元=63.8%:36.2%:00%	A	
いっぱんこくどう251 (国)251号 南	南島原	県			歩道整備 L=1,040、W=2.5(片側)	700,000	446,600	228,000	25,400	0		道路管理者、警察、学校関係者、地元 等による合同点検実施。	A
ごう(せの) (瀬野)	市	ボ	1113	測量設計 1式	30,000	19,140	9,700	1,160	0	者の安全・安心な歩行空間の確保を図る。	地元からの歩道整備要望。 負担割合 国:県:地元=63.8%:36.2%:00%	^ -	

令和7年度新規要求箇所評価調書(交通安全施設等整備事業)

(ふりがな)	市町村	業	事業完了	事業概要			費(単位: 7 : 全体、下段			新規要望理由	III. Let a # t-Bett	総合評価	
事業箇所名	名		予定年度	定 (上段:全体、下段:R7)		国費	県費		市町村費等	(必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	評価	
		144			事業費	四貝	県債	一般財源	中国们良村			Щ	
いっぱんこくどう207 (国)2 07号	諫早市	県	R9	步道整備 L=100、W=2.5(両側)	200,000	127,600	65,100	7,300	0	当区間は長里小学校の通学路であり、歩道 が狭く、通学児童の安全な通学に支障がある ことから、 歩道整備による通学児童等、歩行	道路管理者、警察、学校関係者、地元 等による合同点検実施。		
ごう(とのさき) (殿崎)	武平 巾	乐		測量設計 1式	30,000	19,140	9,700	1,160	0	者の安全・安心な歩行空間の確保を図る。	地元からの歩道整備要望。	A	
										費用便益比 B/C= -	負担割合 国:県:地元=63.8%:36.2%:00%		
いっぱんけんどうたの (一)田浦平 うらひらどこうせん(た 戸港線(田	平戸市	ı	R11	歩道整備 L=500、W=2.5(片側)	500,000	319,000	162,900	18,100	0	当区間は田助小学校の通学路であり、歩道 が無く、通学児童の安全な通学に支障がある ことから、 歩道整備による通学児童等、歩行	道路管理者、警察、学校関係者、地元 等による合同点検実施。		
戸港線(田 ^{まけ)} 助)	十尸巾	乐	KII	測量設計 1式	30,000	19,140	9,700	1,160	0	者の安全・安心な歩行空間の確保を図る。 費用便益比 B/C= -	地元からの歩道整備要望。 負担割合 国:県:地元=63.8%:36.2%:00%	A	
										負用使益氏 B/C− −	頁担剖告 国:県:地尤=03.8%:30.2%:00%		
いっぱんけんどうおお (一)大浜福 はまぶくえせん(か 江線(上崎	工自士	ı	D14	歩道整備 L=800、W=2.5(片側)	1,200,000	835,200	328,300	36,500	0	当区間は旧崎山小学校の通学児童が福江 小学校へ通学するバス停車場までの歩行導 線であり、歩道が無く、通学児童の安全な通学 に支障があることから、 歩道整備による通学	道路管理者、警察、学校関係者、地元 等による合同点検実施。		
江線(上崎 ^{みさきやま)} 山)	五島市	乐	R14	測量設計 1式	30,000	20,880	8,200	920	0	児童等、歩行者の安全・安心な歩行空間の確保を図る。		A	
										費用便益比 B/C= -	負担割合 国:県:地元=69.6%:30.4%:00%		
いっぱんけんどうおお (一)大根坂 ねざかあづちせんほ 的山線(前	平戸市	ı	B10	₹ R10	歩道整備 L=550、W=2.5(片側)	300,000	208,800	82,000	9,200	0	が無く、通学児童の安全な通学に支障がある ことから、 歩道整備による通学児童等、歩行	道路管理者、警察、学校関係者、地元等による合同点検実施。	A
的山林(削 ^{えひら)} 平)				測量設計 1式	30,000	20,880	8,200	920	0	者の安全・安心な歩行空間の確保を図る。 費用便益比 B/C= -	地元からの歩道整備要望。 負担割合 国:県:地元=69.6%:30.4%:00%		
				合計	4,130,000	2,735,700	1,254,600	139,700	0		·		
				u ni	330,000	217,460	100,900	11,640	0				

評価対象事業名 無電柱化推進計画事業補助							
計画対象事業句	無电性心性延前四爭未開功 						
	柱	3	夢や希望のあるまち、持続可能な地域を創る				
長崎県総合計画上	基本戦略	3	安全安心で快適な地域を創る				
の位置づけ	施策	(3)	災害に強く、命を守る強靭な地域づくり				
	事業群	(5)	防災・減災対策のための国土強靭化の推進				

1. 事業の概要

<事業の主な実施内容>

災害の防止、安全・円滑交通の確保、良好な景観の形成等を図るため、道 路の地下空間を活用して、電力線、通信線等をまとめて収容する電線共同溝 を整備し、電線類の地中化を図るものである。

なお、国の「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」の目標で ある「電柱倒壊による社会的影響が大きい市街地等の緊急輸送道路におけ る無電柱化」に基づき、無電柱化の整備を進めるものとする。

<国の主な採択基準>

次のいずれにも該当する無電柱化推進計画事業。

1. 「無電柱化推進計画」に定めた目標の確実な達成に資する事業であって、「都道府県無電 |柱化推進計画等」(地方版無電柱化推進計画)に位置づけられている事業。

ただし、道路の新設、バイパス整備及び道路拡幅のうち車線数の増加を伴う事業と同時に 行う無電柱化推進計画事業(土地区画整理事業、市街地再開発事業等を施行する者に対しそ 事業概要 の経費の一部に対して負担金の負担又は補助金の交付を行う事業は除く。)は除く。

2. 低コスト手法の活用や新技術・新工法の導入等の検討により、低コスト化に取り組む事業 (低コスト化:浅層埋設、小型ボックス、角形多条管等)

ただし、R2.3時点で工法・手法が決定している事業は除く。

<負担区分(%)>

国	県	地元	条件
55	45	0	本土(国道·地方道)
66.6	33.4	0	離島(国道)
60	40	0	離島(地方道)

く県費の継ぎ足し>

□有 □ 無

2. 新規要求における事業評価の視点

①災害の防止が図られるか。

市街地等※1の緊急輸送道路の無電柱化(防災・減災、国土強靭化の ための5か年加速化対策(令和2年12月閣議決定) 等

②安全・円滑な交通の確保が図られるか。

事業評価 の視点

(バリアフリー法に基づく特定道路、通学路、歩行者利便増進道路 等)

③良好な景観の形成が図られるか。

(世界遺産・日本遺産等の周辺、重要伝統的建造物群保存地区 等)

※1 市街地等の考え方は、「都市計画法で定める市街化区域」または 「市街化区域の定められていない都市の用途区域」

作成年月日	令 和 6	年	/, ,	1
事業所管	土木 市町道・環境	部班	道路維持 (内線)	寺 課 31 4 3
課(室)長名	印引足 水光	田﨑	智	0140

2 今和7年由新田市出售部

<u>o.</u>	747 千皮利凡女不迫刀	
no.	<u> </u>	市町村名
1	(国)202号(稲佐橋~旭大橋)	長崎市
2	(国)202号(稲佐橋~旭大橋) (国)204号(春日町~梅田町)	佐世保市
3		
1 2 3 4 5		
5		
6		
7		
6 7 8		
9		
9 10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17 18		
18		
19		
20		
21		
22 23		
23		
24		
25		
25 26		
27		
28		
29		
30		

令和7年度新規要求箇所評価調書(電線共同溝事業)

(ふりがな)	市町村名	事業	事業完了	事業概要	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R7)					新規要望理由	地域の要望等	総合評価			
事業箇所名		業主体	予定 年度	(上段:全体、下段:R7)	事業費	国費	県債 一般財源		市町村費等	(必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)					
(国)202号 (稲佐橋~旭 長崎市 大橋)	巨体士	ı	R14	電線共同溝 L=0.78(1.56)km	1,200,000	660,000		54,000		断が生しるぶれかのることもに、京気や地行空间の女主性・快適性の阻害要因となっている。 このような事から、国の5か年加速化対策により、目標とされている「電柱倒壊による社会的影響が大きい市街地等の緊急輸送道路における無電柱化川に基づき無電社化を実施することで、災害の防止、安全・円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図る。 併せて、当該箇所近隣においては、長崎スタジアムシティプロジェクトや長崎駅周辺再整備事業等の大型事業に併せてその周辺の道路でも無電柱化が実施されていることから、一体的な整備によるネットワークの強化を図るため、R7 新規事業として要求したい。	「無電柱化の推進に関する法律」の 定めに基づき、国が策定した「無電柱 化推進計画(R3~R7)」において、新 たな無電柱化の着手が求められてお り、本要求箇所は、この計画の中に位 置付けられている。	A			
	長崎巾 	保		測量設計 N=1式	30,000	16,500	12,100	1,400							
(国)204号 (春日町~梅 田町)	/ 	ı		電線共同溝 L=0.85(1.70)km	1,300,000	715,000	526,500	58,500		当該箇所は、佐世保市の中心市街地に位置し、周辺 は公共施設や大型施設が建ち並んでいて、地域の経済・公 活を支えるうえで重要な道路である。 また、緊急輸送道路に指定されているが、道路内には多 の電柱が建ち並んでおり、大規模災害(地震、竜巻、台風 等)が起きた際に、電柱等が倒壊することによる道路の寸 断が生じる恐れがあるとともに、景観や通行空間の安全 性・快適性の阻害要因となっている。 このような事から、国の5か年加速化対策により、目標と					
	佐世保市	5 県	県	県	県	₹ R14		測量設計 N=1式	30,000	16,500	12,100	1,400		されている「電柱倒壊による社会的影響が大きい市街地等の緊急輸送道路における無電柱化」に基づき無電柱化を実施することで、災害の防止、安全・円滑交通の確保、良好な景観の形成等を図る。 併せて、本路線の一部は既に無電柱化が完了または事業中であることから、連続した整備を行うことで、無電柱化のネットワーク強化を図るため、R7新規事業とて要求したい。	り、本要求箇所は、この計画の中に位置付けられている。 負担割合 国:県:地元=55.0%:45.0%:0.0%
	合計		2,500,000	1,375,000	1,012,500	112,500	0	1	1						
	口前			60,000	33,000	24,200	2,800	0							